

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	国民体育大会等の開催を見据えた県内都市公園の整備												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	栃木県, 小山市, 下野市, 栃木市, 鹿沼市, 佐野市, 足利市, 那須烏山市												
計画の目標	平成34年に開催される第77回国民体育大会等を見据え、国民体育大会で会場となる県内都市公園の整備を推進するとともに、県営都市公園については、平成32年の開催が決定した東京オリンピック・パラリンピック大会に本県として貢献するため、公園内の運動施設の更なる機能の向上、プロスポーツを含めたトップアスリートに対する支援等の観点も含めた、県民に愛され、県民が誇れる、県民総スポーツの推進拠点を整備する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	50,671	A	50,671	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	【栃木県総合運動公園 (県)】・運動施設の大会等で使用する年間予定延べ日数を1,047日 (H27) から1,152日 (H31) に10%増加 栃木県総合運動公園における運動施設の年間予定延べ日数を調査する。 (年間予定日数の増加率) = (評価時点の年間予定日数 (1,152日) - H27当初の年間予定日数 (1,047日)) / (H27当初の年間予定日数 (1,047日)) (%)	0%	5%	10%
2	【栃木県総合運動公園 (県)】・総合運動公園の年間来園者数を420,055人 (H27) から462,061人 (H31) に10%増加 栃木県総合運動公園における年間来園者数を調査する。 (年間来園者の増加率) = (評価時点の年間来園者数 (462,061人) - H27当初の年間来園者数 (420,055人)) / (H27当初の年間来園者数 (420,055人)) (%)	0%	5%	10%
3	【栃木県総合運動公園 (県)】・総合運動公園のスポーツ教室開催数を14回 (H27) から18回 (H31) に30%増加 栃木県総合運動公園におけるスポーツ教室開催数を調査する。 (年間教室開催数の増加率) = (評価時点の年間教室開催数 (18回) - H27当初の年間教室開催数 (14回)) / (H27当初の年間教室開催数 (14回)) (%)	0%	15%	30%
4	【小山運動公園 (小山市)】・本球場の利用件数を86件/年 (H28・12末) から102件/年 (H30・12末) へ増加 小山運動公園の本球場利用件数を測定する。 ※当初現況値はH28末	86件/年	件/年	102件/年
5	【小山運動公園 (小山市)】・本球場の利用者数を8,895人 (H28・12末) から10,500人 (H30・12末) へ増加 小山運動公園の本球場利用者数を測定する。	8895人/年	人/年	10500人/年
6	【大松山運動公園 (下野市)】・市民一人あたり都市公園面積の増加 下野市の市民一人当たりの都市公園面積の増加割合	9㎡	9㎡	10㎡

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
7	【大松山運動公園（下野市）】・防災公園の整備により、災害時に避難可能となる人数の増加 大松山運動公園における災害時に避難可能となる人数の増加割合＝整備後に避難可能となる人数（5,500人）／目標とする避難可能人数（5,500人）	27%	27%	100%
8	【大松山運動公園（下野市）】・防災計画に基づき整備した防災施設の増加 大松山運動公園における防災施設の増加割合＝整備後の防災施設面積（67,200人）／目標とする防災施設面積（67,200人）	36%	36%	100%
9	【栃木市総合運動公園（栃木市）】・総合体育館の利用者数を171,026人（H28）から179,500人（H31）へ増加 栃木市総合運動公園の体育館の利用者数を測定する。 ※当初現況値はH28末	171026人／年	人／年	179500人／年
10	【自然の森総合公園（鹿沼市）】・老朽化した公園施設について、更新済み施設数の増加を図る。長寿命化の対象となる9施設の内、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を行い、健全な公園施設の割合を22%にする。 自然の森総合公園における健全な公園施設数の割合＝更新が完了した公園施設数（2施設）／更新が必要な公園施設数（9施設）	0%	0%	22%
11	【佐野市運動公園（佐野市）】・運動広場の利用件数を321件/年（H28）から385件/年に20%増加 佐野市運動公園の運動広場利用件数を測定する。 ※当初現況値はH28末	321件／年	件／年	385件／年
12	【足利市総合運動場（足利市）】・老朽化した公園施設について、更新済み施設数の増加を図る。長寿命化の対象となる9施設の内、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の更新を行い、健全な公園施設の割合を44%にする。 足利市総合運動場における健全な公園施設数の割合＝更新が完了した公園施設数（4施設）／更新が必要な公園施設数（9施設）	0%	0%	44%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	栃木県	直接	栃木県	—	—	都市公園事業（栃木県総合運動公園）	施設整備 A=178,000m2	宇都宮市	■	■	■	■	■	46,411		—
	A12-002	公園	一般	小山市	直接	小山市	—	—	小山運動公園（都市公園）整備事業	野球場ナイター新設他1.6ha	小山市			■	■	■	784	1.8	策定済
	A12-003	公園	一般	下野市	直接	下野市	—	—	都市公園事業（大松山運動公園）	運動公園の整備	下野市	■	■	■	■	■	2,634		—
A12-004	公園	一般	栃木市	直接	栃木市	—	—	公園施設長寿命化対策支援事業（栃木市総合運動公園）	総合体育館の給排水設備改修他	栃木市				■	■	123		策定済	
A12-005	公園	一般	鹿沼市	直接	鹿沼市	—	—	公園施設長寿命化対策支援事業（自然の森総合公園）	公園施設更新 2施設	鹿沼市				■	■	150		策定済	
A12-006	公園	一般	佐野市	直接	佐野市	—	—	都市公園事業（佐野市運動公園）	多目的球技場（サッカー・ラグビー等）の整備	佐野市				■	■	313	3.0	—	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定主体（栃木県都市整備課）にて評価を実施	令和3年度（繰越工事完了後）
	公表の方法 栃木県HPにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	各種施設整備が進み、令和4年開催予定の国民体育大会に向けた準備が着実に進められている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

施設整備の完了を踏まえ、利用者へ良好な環境を提供し続けられるよう、公園施設長寿命化計画を整え、適切な管理を行っていく。
オリンピック・国体等の開催を機に創出される多様なレガシーを、更なるスポーツの振興、スポーツを通じたまちづくりや地域活性化につなげていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	栃木県総合運動公園における運動施設の年間予定延べ日数の増加率		
	最終目標値	10%	各種施設整備が概成し、オリンピックにおける事前キャンプ地としても利用が計画されたこと等により、年間予定延べ日数が大幅に増加したため。
	最終実績値	58%	
栃木県総合運動公園における年間来園者の増加率			
2	最終目標値	10%	新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設利用制限等により来園者数が大幅に減少したため。
	最終実績値	-25%	
	栃木県総合運動公園におけるスポーツ教室年間開催数の増加率		
3	最終目標値	30%	新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設利用制限等により開催数が大幅に減少したため。
	最終実績値	-43%	
	小山運動公園の本球場利用件数		
4	最終目標値	102件／年	
	最終実績値	142件／年	
	小山運動公園の本球場利用者数		
5	最終目標値	10500人／年	
	最終実績値	10665人／年	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
6	下野市の市民一人当たり都市公園面積		
	最終目標値	10㎡	他事業において整備を行っていた公園が供用開始となったため。
	最終実績値	16㎡	
7	大松山運動公園における災害時に避難可能となる人数の増加割合		
	最終目標値	100%	
	最終実績値	107%	
8	大松山運動公園における防災施設の増加割合		
	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
9	栃木市総合運動公園の体育館の利用者数		
	最終目標値	179500人／年	
	最終実績値	192492人／年	
10	自然の森総合公園における健全な公園施設数の割合		
	最終目標値	22%	
	最終実績値	22%	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
11	佐野市運動公園の運動広場利用件数		
	最終目標値	385件／年	令和元年5月より当該運動広場の整備工事（令和3年7月工期末）に着手したため。
	最終実績値	0件／年	
12	足利市総合運動公園における健全な公園施設数の割合		
	最終目標値	44%	維持修繕により機能が回復した施設について更新を見送ったため。なお、国民体育大会の開催には影響を及ぼさない。
	最終実績値	22%	